

ありがとう 今日までそして明日からも

人類がいまだかつて経験したことのないライフスタイルを強いられた1年でしたが、概ねこれまで通り花粉症と歓喜の涙に溺れる歓びをひしひしと感じております。子どもたちのためにご尽力下さった全ての方々に、心よりのお祝いと感謝の念をお伝え申し上げます。

とまと組のみんな、卒園おめでとう。

縁あって幾多の楽しい時間を共有して下さった保護者の皆さん、一緒に頑張ってきて良かったです、いつも励まされました。

そして何より、このコロナ禍で十分な感染対策を行いつつ子ども達の大好きな園の毎日を運営して下さった園長先生始め先生方には、どれだけ感謝しても感謝し尽くせません。

極めて私的なこととなりますが、実に11年にも及ぶ私ども家族の御厄介がこれにて幕引きとなります。本来であればむしろ指導的役割を担うべきだった我々が、その当時、歩みのゆっくりな長女の件ですがるような思いで訪れたのが両野保育園でした。とても自然に受け入れてくれた先生方、きっといつの時代でも、誰にでもそうして来られたのだと思います。そんな風に支えられる中で、積極的に参加すること・楽しむこと、が大事なんだと気付きました。私ごときが鉄板の前に立っちゃう？餅つきしちゃう？ずっと先の方を走っている先生方はすごいな、かつこいな、と。遠足・行事の時など、園長先生はじめ先生方にここまでよくしてもらっていいのかな、そんな気持ちが我々自身の日々ももっと頑張ろうという原動力になっていました。

最初に縁あった時には2人姉妹4人家族だったのが今では5人姉妹7人家族。本当にたくさんのエネルギーをもらいました。私どもよりもピッチピチのお母さん！お父さん！両野保育園は必ず力になってくれますよ。安心して家族が増えることを願ってみましょう。そして、みなさんのハッピーが今度は、保育園や地域を元気にしてくれるはずですよ。

ともに育つ。父も母もちゃんと育ててもらいました、まるで家族一丸で一人の園児のように。わたしたちもあなたの作品の一つです、みっともないことはできませんね。

とまと組のみんな、これまでたくさん遊んでくれてありがとう。どこかで見かけたら声をかけてね。いつかまた必ず、一緒に何か楽しいことしよう。

いまこの時が名残惜しいですが、これで終わりとも思っておりません。両野保育園のことを忘れることはありませんし、これからも何か手伝わせてもらって今度こそ何か役に立てるとよいのですが。そう遠くない未来に、行事の設営やバラシで、園庭で、小俣公園で、プラザで、そしてコロナを制圧した暁には園長先生宅でも、、、ぜひまたお会いしましょう。

子ども達のこれからの大活躍と、それぞれのご家庭の最高のハッピーと、両野保育園が永久に不滅であること、を切に祈っております。迷わず行けよ！行けばわかるさ！

服部直人 祐平 家茂一同